

PRESS RELEASE

30
years of
collaboration

ギャラリー小柳 展覧会のご案内

マーク・マンダース

Silent Studio

2024.12.18 (Wed) – 2025.3.8 (Sat)



Mark Manders, *Nightfall Scene*, 2024

報道関係者各位

平素よりお世話になっております。

この度、ギャラリー小柳では2024年12月18日(水)から2025年3月8日(土)の会期で、マーク・マンダースによる個展「Silent Studio」を開催いたします。本展では、ギャラリー小柳の展示空間をアーティストのスタジオに一変させ、新作を含む9点を公開いたします。

マンダースは1980年代後半より、彫刻や家具、日用品や建築部材などを「想像上の」部屋に、緻密に練られた配置図に基づいて配するインスタレーションを制作してきました。それらはすべて作家が「建物としてのセルフポートレート」と呼ぶライフワークの断片であり、時代や様式を超えて普遍的な美しさを醸し出す彫刻や、実物よりわずかに縮小された家具などを介して、作家自身の抽象的で個人的な思考や感情を、空間のなかで視覚化してきました。

「Silent Studio」と題された本展覧会では、ギャラリーの空間を半透明の薄いビニールで囲い、アーティストのスタジオに一変させます。展示空間の中央には、《Bonewhite Clay Head with Two Ropes》(2018-2024年)が配され、作業台の上に置かれた乾燥してひび割れたかのような彫刻はロープで留められ、今にも崩れそうな緊張感を与えます。これらの作品がスタジオの設えに配されることで、作業の途中であるかのような印象を見る者にもたらし、静かなスタジオに作家がそれまでその場にいたかのような、あるいは長い間放置されたかのように感じさせます。儚さが漂う彫刻は実はブロンズなどで強固につくられており、まさにひとつの瞬間が凍結したかのようなのです。



Mark Manders, *Bonewhite Clay Head with Two Ropes*, 2018-2024



Mark Manders, *Nightfall Scene*, 2024

今回いくつかの作品につかわれた「Bonewhite」は灰色に近い白で、より一層作品に儚さを与えますが、マンダースの作品に見られる青い色彩は、その色合いや深さによって海や風景、そして空の異なる時間を表します。《Nightfall Scene》(2024)の深い青色は黄昏時の空を表していますが、作品に配された色や素材を通して作品は静かに対話し、詩的な空間をつくりあげています。

展覧会初日の前日、12月17日(火)の午後5時から7時までマーク・マンダースを迎えてプレビューとレセプションを開催いたします。是非お越しいただけますようお願い申し上げます。(※12月17日はプレビューとなりますので、午後5時より開廊いたします。)

GALLERY KOYANAGI

本展覧会の会期中、東京都現代美術館で開催されている「開館30周年記念プレ企画 イケムラレイコ マーク・マンダース Rising Light / Frozen Moment」展では、同館所蔵の《椅子の上の乾いた像》(2011-15年)が特別なインスタレーションで2025年3月30日(日)までご覧いただけます。こちらもおあわせてご覧いただけますと幸いです。

資料および図版のご依頼は担当者までご連絡ください。
ご掲載の際にはご一報いただけますよう、お願い申し上げます。

ギャラリー小柳

【広報用図版】

ご使用の際は、下記キャプションとクレジットラインを表記いただくようお願いいたします。
下記ご承知おきの上ご使用くださいますようお願いいたします。

- ・図版のトリミング不可
- ・図版への文字載せ不可
- ・図版の二次使用禁止、ご使用後は速やかにデータを破棄してください。



[キャプション]

マーク・マンダース

Nightfall Scene

2024年

彩色されたブロンズ、彩色されたカンヴァス、彩色された木、鉄、彩色されたエポキシ樹脂

51 x 42 x 23 cm

Mark Manders

Nightfall Scene

2024

Painted bronze, painted canvas, painted wood, iron, painted epoxy

51 x 42 x 23 cm

[クレジット]

© Mark Manders / Courtesy of Gallery Koyanagi

GALLERY KOYANAGI

【展覧会概要】

作家名：マーク・マンダース

展覧会名：Silent Studio

会期：2024年12月18日（水）－2025年3月8日（土）

[プレビュー&レセプション：12月17日（火）17:00－19:00]

開廊時間：12:00－19:00

休廊日：日／月／祝祭日

冬期休廊：12月28日（土）－1月6日（月）

会場：ギャラリー小柳

東京都中央区銀座1-7-5 小柳ビル9F

Tel: 03-3561-1896 Fax: 03-3563-3236

アクセス：

東京メトロ有楽町線 銀座一丁目駅7番出口より徒歩1分

丸ノ内線・銀座線・日比谷線 銀座駅A-9出口より徒歩5分

お問い合わせ：ギャラリー小柳

Tel: 03-3561-1896

Mail: mail@gallerykoyanagi.com

URL: <http://www.gallerykoyanagi.com>

GALLERY KOYANAGI

マーク・マンダース

1968 オランダ フォルケル生まれ
ロンセ ベルギー在住

主な個展

- 2025 「Mark Manders」 Museum Voorlinden (ワッセナー、オランダ)
- 2024 「Silent Studio」 ギャラリー小柳 (東京)
「Silent Studio」 Fondazione Sandretto Re Rebaudengo (トリノ、イタリア)
「Mark Manders」 Xavier Hufkens (ブリュッセル、ベルギー)
- 2021 「マーク・マンダース：保管と展示」 東京都現代美術館 (東京)
「マーク・マンダースーマーク・マンダースの不在」 東京都現代美術館 (東京)
- 2020 「ミヒヤエル・ボレマンス マーク・マンダース | ダブル・サイレンス」 金沢 21 世紀美術館 (金沢)
- 2018 「ミヒヤエル・ボレマンス / マーク・マンダース」 ギャラリー小柳 (東京)
- 2017 「Rokin fountain sculpture (permanent installation)」 Rokin Square (アムステルダム)
「Minneapolis Sculpture Garden (permanent installation)」 Walker Art Centner (ミネアポリス、アメリカ)
- 2016 「Mark Manders」 Zeno X Gallery (アントワープ、ベルギー)
- 2015 「Mark Manders」 Tanya Bonakdar Gallery (ニューヨーク)
「マーク・マンダース」 ギャラリー小柳 (東京)
- 2014 「Mark Manders」 Centro Galego de Arte Contemporanea (サンティアゴ・デ・コンポステーラ、スペイン)
- 2013 「Room with broken Sentence」 Dutch Pavillion, 55th Venice Biennial (ヴェニス)
- 2012 「Parallel Occurences / Documented Assignments」 Dallas Museum of Art (ダラス、アメリカ)
- 2011 「Two Interconnected Houses」 Douglas Hyde Gallery (ダブリン、アイルランド)
「Parallel Occurences / Documented Assignments」 Walker Art Center (ミネアポリス、アメリカ)
「Parallel Occurences / Documented Assignments」 Aspen Art Museum (アスペン、アメリカ)
「Two Interconnected Houses」 La Casa Luis Barragán (メキシコシティ)
- 2010 「Parallel Occurences / Documented Assignments」 Hammer Museum (ロサンゼルス)
- 2009 「The Absence of Mark Manders」 Kunsthaus Zürich (チューリヒ、スイス)
- 2008 「The Absence of Mark Manders」 S.M.A.K. (アントワープ、ベルギー)
「The Absence of Mark Manders」 Kunsthall Bergen (ベルゲン、ノルウェー)
- 2007 「The Absence of Mark Manders」 Kunstverein Hannover (ハノーバー、ドイツ)
- 2006 「Mark Manders: Short Sad Thoughts」 BALTIC Centre for Contemporary Art (ゲーツヘッド、イギリス)
- 2005 「Parallel Occurance」 IMMA - Irish Museum of Modern Art (ダブリン、アイルランド)
「MATRIX 214: The Absence of Mark Manders」 Berkeley Art Museum (バークレー、アメリカ)
- 2003 「Mark Manders」 The Art Institute Chicago (シカゴ)
「Mark Manders」 Pinakothek der Moderne (ミュンヘン)
- 2002 「Kaleidoscope Night」 Kröller-Müller Museum (オッテルロー、オランダ)
- 1998 「XXIV Biennale Sao Paolo. Self Portrait in a surrounding area」 (サンパウロ、ブラジル)
「14 Fragments from Self-Portrait as a Building」 Staatliche Kunsthalle

GALLERY KOYANAGI

(バーデン・バーデン、ドイツ)

- 1997 「Mark Manders」 The Douglas Hyde Gallery (ダブリン、アイルランド)
「Mark Manders」 De Appel (アムステルダム)
- 1994 「Mark Manders shows some fragments of his Self-Portrait」 MUHKA (アントワープ、ベルギー)
「Mark Manders」 Van Abbemuseum (アイントホーフェン、オランダ)

主なパブリックコレクション

愛知県美術館／金沢 21 世紀美術館／国立国際美術館／東京都現代美術館／Art Gallery of Ontario
／Art Institute of Chicago／Carnegie Museum of Art／Fondation Louis Vuitton／Irish Museum of
Modern Art／Kunsthau Zurich／MOCA Museum of Contemporary Art, Los Angeles／MuHKA,
Antwerpen／Museum of Contemporary Art, Chicago／The Museum of Modern Art, New York／
Museum voor Moderne Kunst／Philadelphia Museum of Art／Pinakothek der Moderne／
Sammlung Goetz／San Francisco Museum of Modern Art／S.M.A.K., Ghent／Stedelijk Museum,
Amsterdam／Van Abbemuseum／Wadsworth Atheneum Museum of Art／Walker Art Center